

専門職に聞く！

認知症との
付き合い方

認知症とともに生きる ― 認知症の症状はどんなものなのか、どう向き合えばいいのか、一つひとつ不安を取り除き、本人も家族も安心できれば症状の進行を遅らせることにつながります。「認知症との付き合い方」を専門職の方々に伺いました。

専門職への相談窓口は

大田区認知症サポートガイドを
チェック！

症状の進行に合わせたサービスや相談窓口が見つかります。地域包括支援センター、地域福祉課、高齢福祉課などで3月26日から配布します。



詳細は
コチラ



認知症の進行は遅らせることができる
そのためには早期発見を

アルツハイマー型認知症など、多くの認知症を完全に治す薬はまだありません。しかし、「中核症状」といわれる、もの忘れや判断力の低下などは、薬によって進行を緩やかにすることができます。また、怒りっぽくなる、妄想があるなどの「行動・心理症状」は適切なケアで改善されることがあります。認知症の診療を習熟した認知症サポート医が地域包括支援センターなどと連携して、これまでの生活を続けられるよう支援をしています。

認知症の前段階のうちに、認知症の進行を早める可能性のある生活習慣病を治療して認知症を予防することや、認知症の初期症状を早期に発見すると、適切な対応や支援につなげることができます。認知症になってからも本人が幸せかどうか大事。そのために、周りの方がサポートすることが大切です。



大田区三医師会認知症研究会
会長 荻原 牧夫さん

認知症になっても失われない自分らしさ
私たちが気持ちを受け止め、支援します

認知症は、誰もがかかる可能性のある病気です。「薬を飲み忘れることが増えた」「お金を下ろせない」など、気になることがあれば早めに医療機関を受診しましょう。認知症と診断されたら不安になると思いますが、認知症になってもその方であることに変わりはありません。できないことが増えても、その段階に応じた支援方法があります。ご本人の意思を尊重するために、接するときは「驚かせない、急がせない、自尊心を傷つけない」ことを意識してください。

認知症支援コーディネーターは地域包括支援センターと情報を共有し、医療・福祉・介護の専門職がご本人やご家族を支援します。親や配偶者が医療機関にかかるのをためらうような場合には、受診につなげるお手伝いもしていますので、お困りことがあればまずは地域包括支援センターに相談してください。



認知症支援コーディネーター
保健師 今井 文香さん

若年性認知症について正しく理解し
できることに目を向けよう

64歳以下で発症する認知症を若年性認知症といいます。発症すると、仕事を続けるのが難しくなって経済的な問題が生じたり、配偶者の負担が増える、子どもの生活に影響を与えるなど家庭内の問題が出てきたりします。多面的な支援が必要となるため、私たちはその支援につながるためのサポートをしています。

若年性認知症と診断されても、できることはたくさんあります。私たちはその力を発揮できるように、ご本人と一緒に考えながら支援します。医療機関や就労支援機関との調整、社会福祉制度や地域での活動場所の案内なども行っています。ご本人や家族にとって大切なのは、認知症を正しく理解して、今できることに目を向けること。

工夫次第で、生活の質を維持することができます。少しでも不安に思ったら私たちに相談してください。



大田区若年性認知症支援相談窓口
管理者 堀端 秀和さん

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

大田区における新型コロナウイルス感染症対策については、区HPをご覧ください。



詳細は
コチラ

相談窓口

症状がある・感染が疑われる方／新型コロナ受診相談窓口

●東京都発熱相談センター
(24時間対応)
☎5320-4592

●大田区相談センター
(平日午前9時～午後5時)
☎5744-1360
FAX 5744-1524

感染への不安のある方

●東京都新型コロナコールセンター
(午前9時～午後10時／土・日曜、休日も対応)
※多言語(日・英・中・ハングル)による相談も可
☎0570-550571 FAX 5388-1396

新型コロナワクチン接種に関するお知らせ

区報3月1日号でお知らせした新型コロナワクチン接種の接種券の発送について、3月30日から順次、対象の方(65歳以上の高齢者)向けに発送するとお知らせしました。しかしながら、国から示されたワクチン供給スケジュールを踏まえ、当面接種券の発送を見合わせます。接種券などの送付時期、接種スケジュールについては、今後発行する区報、区HPでお知らせいたします。

※この記事は、3月8日時点の情報に基づいて作成しました

大田区新型コロナ
ワクチン接種コールセンター ☎6629-6342 FAX 5744-1574

春の大田区交通安全運動

4月6～15日

大田区では、交通事故で亡くなる方や自転車に関与した事故の割合が増えています。一人ひとりが交通ルール・マナーの実践を習慣づけて、交通事故を防止しましょう。

交通安全
運動の
重点

- 子どもと高齢者をはじめとする歩行者の安全の確保
- 自転車の安全利用の推進
- 歩行者などの保護をはじめとする安全運転意識の向上
- 二輪車の交通事故防止



▶問合先 都市基盤管理課交通安全・自転車総合計画担当 ☎5744-1315 FAX 5744-1527

大田区休養村とうぶに泊まるバスツアー
富士見高原天空の遊覧カートと戸隠水芭蕉ツアー

▶対象 代表者が区内在住か在勤の方
▶日程 5月14日(金)・15日(土)(1泊2日)
▶費用 大人29,800円、小学生以下28,000円から
▶定員 抽選で20名
▶問合先 休養村とうぶ(長野県東御市和6733-1)
☎0268-63-0261



▲富士見高原



申込期限、申込方法など
詳細はコチラ

安心してご利用いただけるよう、消毒や人数制限など、感染対策を徹底しています。

▶問合先 地域力推進課区民施設担当 ☎5744-1229 FAX 5744-1518

次号の区報は

4月1日号 特集 見つけよう！あなたのUniqueOta

11日号・21日号は新聞折込か駅広報スタンド、区施設、公衆浴場、セブン-イレブンで配布。配送サービス(外出困難などの要件有り)も行っています。

4 大田区報 令和3年3月21日号